

土木学会デザイン賞2015
最優秀賞 受賞

一乗谷川における川づくり

2016年6月22日

脇本 幹雄
佐幸測量設計(株)



- ・一乗谷朝倉氏遺跡は、戦国大名により築かれた城下町の原形
 - ・遺構がほぼ完全に保存された特異な遺跡(1971年に国特別史跡)
 - ・遺跡発掘、武家屋敷復元を含む史跡公園として整備(公有地化)
 - ・貫流する一乗谷川は流下能力が不足し洪水氾濫し、沿川住民や文化財関係者が改修を期待
- ↓
- ・史跡公園と河川を一体整備し、安全で魅力的な名所づくり



遺跡見学の案内

1.標準見学コース	2.歴史探訪コース
○駐車場(休憩所・WC)→町並立体復原地区→朝倉館→湯殿跡庭園→中の御殿→諏訪館跡庭園(約1時間)	○城下町探訪 下城戸→寺院と町屋群→領主の館群→町並立体復原地区→上城戸(約3時間)
○石仏探訪 西山光照寺→三体仏→瓜割清水付近→盛源寺など(約2時間)	○山城探訪 下城戸コース(約3時間) 馬出コース(約2時間30分)
※一乗谷見学1時間を含む往復時間	
――― 遊歩道	

一乗谷川 ふるさとの川 整備事業

寺院と町屋群

西光寺

一乗谷川

権殿
一乗谷
史跡

八幡神社

小城

重点整備区間

800m

町並立体復原地区

月見櫓

WC
休憩所

瓜割清水

南陽寺跡庭園

朝倉館

領主の館群

湯殿跡庭園

英林塚

休憩所

中の御殿

諏訪館跡庭園

WC

通行止

一乗小学校

- 竣工:1998年度
- 事業費:5.6億円
- 主要施設
 - ・護岸工
 - : 巨石積および巨石張
 - ・法面工
 - : 野草法面土羽工
 - ・根固工: 木工沈床
 - ・床止工
 - : 落差工(多段型)1基
 - 帯工 2基
 - ・堤外水路
 - : 自然石積、管渠工
 - ・橋 梁
 - : 管理道路橋
 - (RC床版橋)1橋
 - 人道橋
 - (鋼製桁橋)3橋

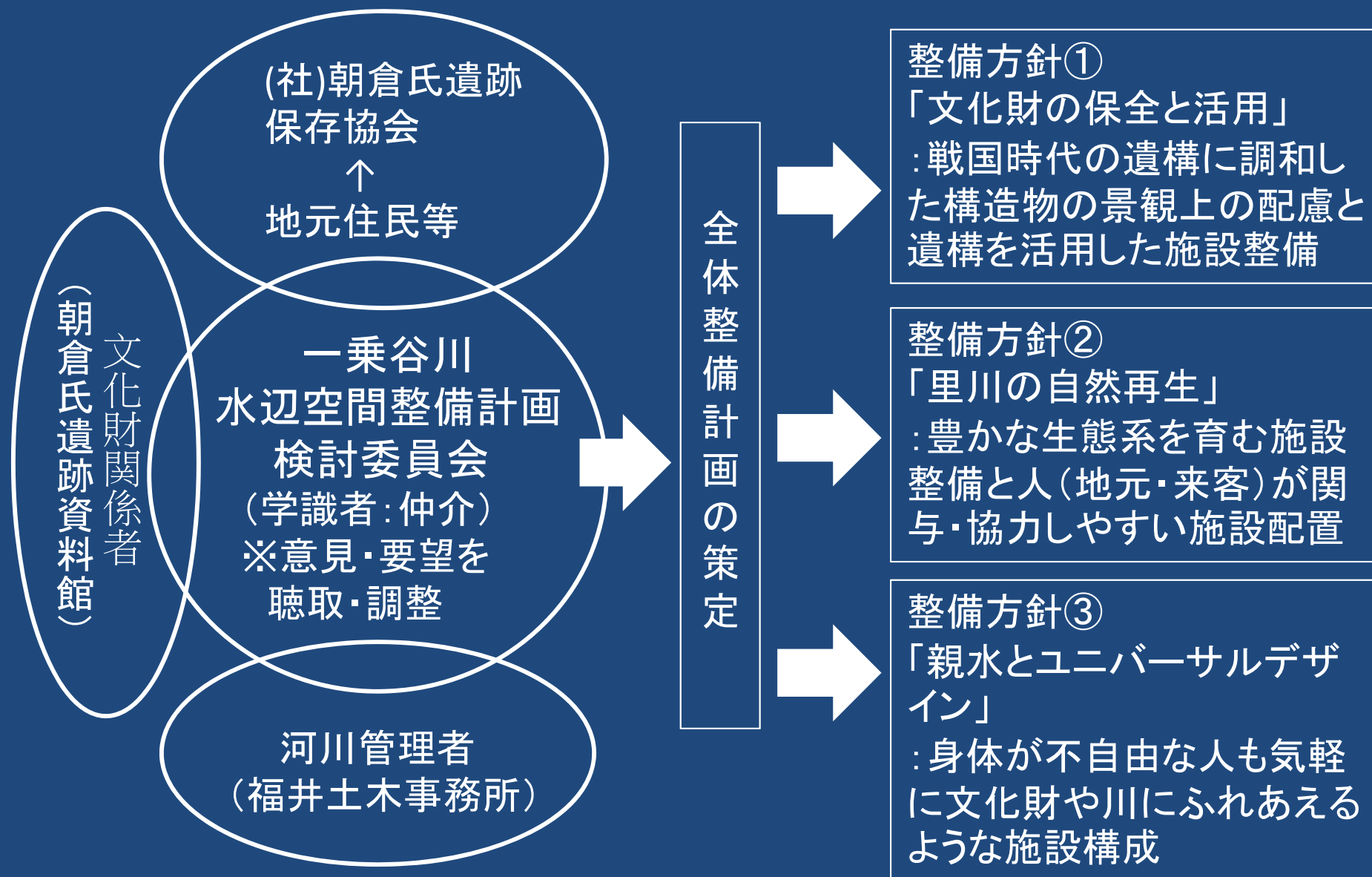


朝倉氏領主館

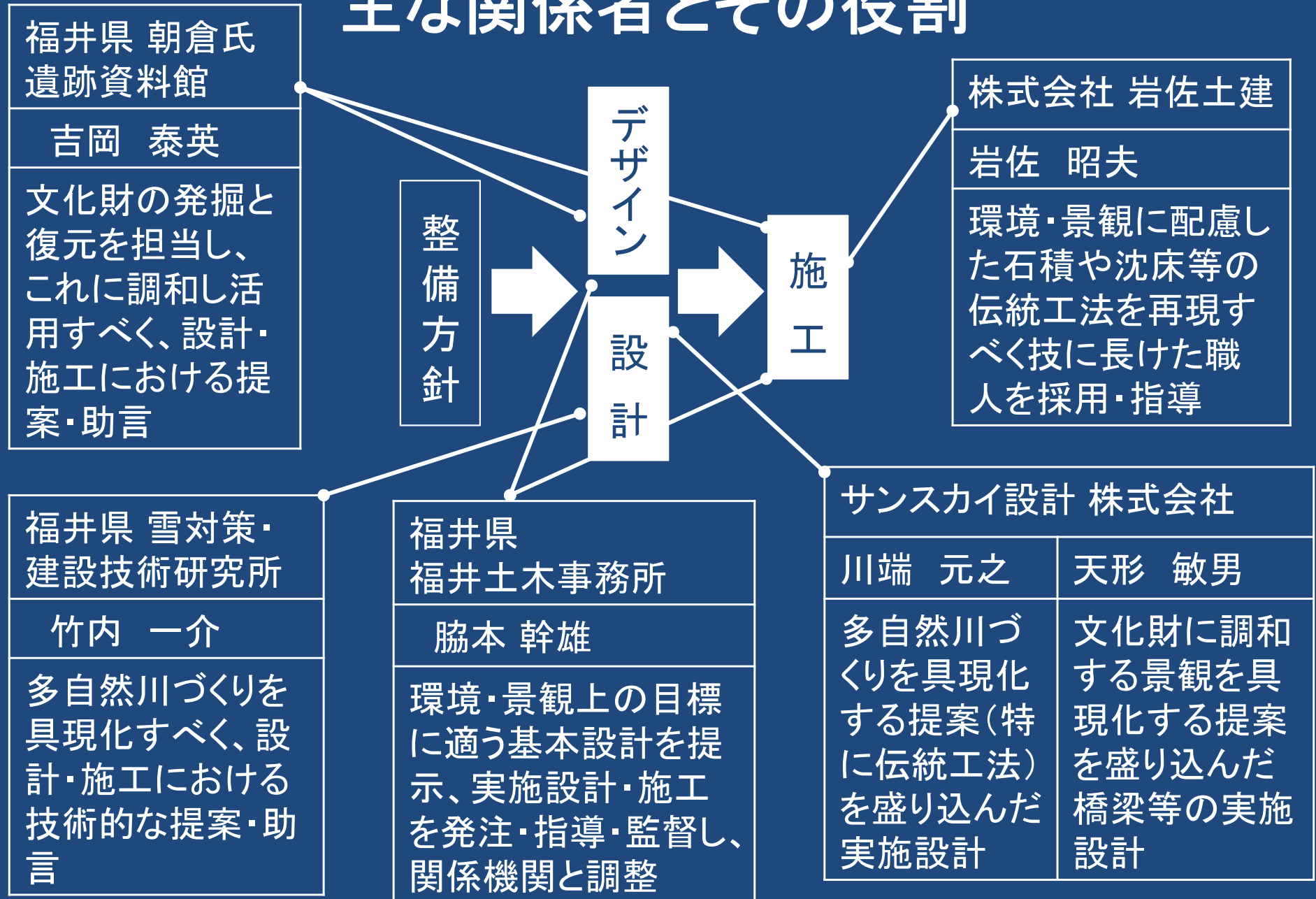


武家屋敷の街並み復元

事業化のプロセス



主な関係者とその役割

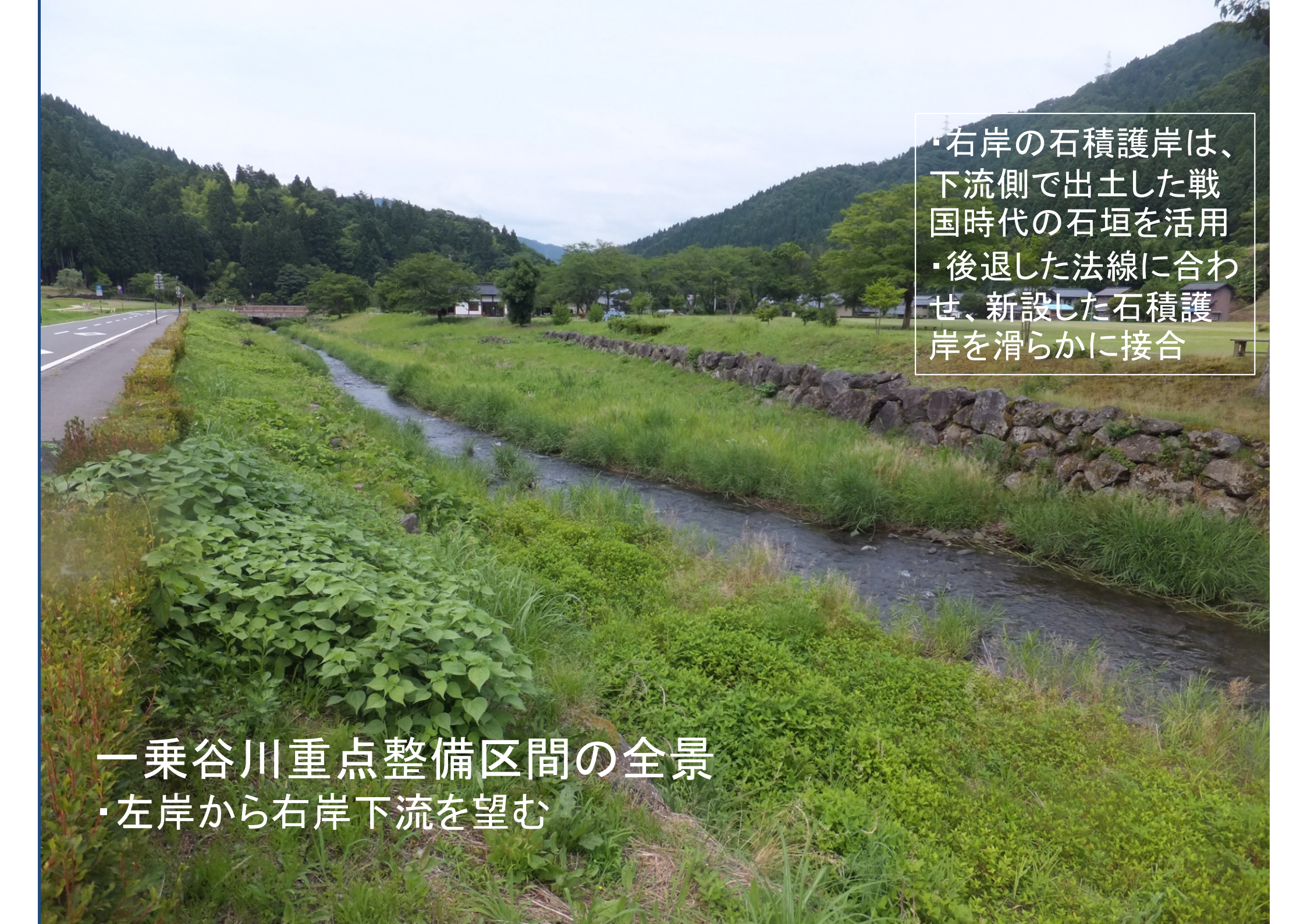


一乗谷川重点整備区間の全景

・左岸(武家屋敷側)下流から右岸(領主館側)上流を望む

領主館の濠から流れ
出た支川が合流

・伝統工法の再現
(木工沈床、野面石積・張)
・現地植生の再生
(シードバンク・野草法面)

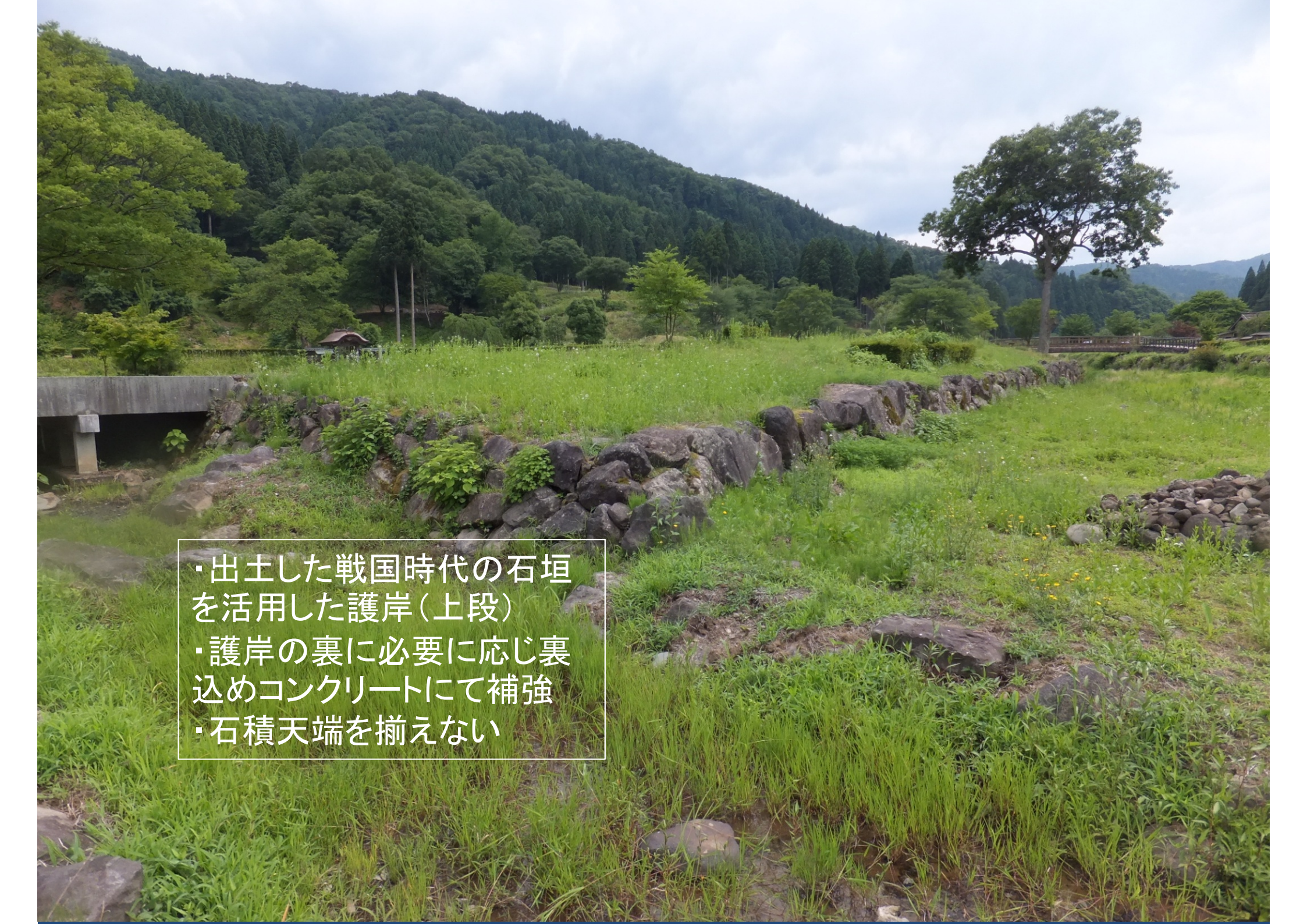


・右岸の石積護岸は、
下流側で出土した戦
国時代の石垣を活用
・後退した法線に合わ
せ、新設した石積護
岸を滑らかに接合

一乗谷川重点整備区間の全景

・左岸から右岸下流を望む

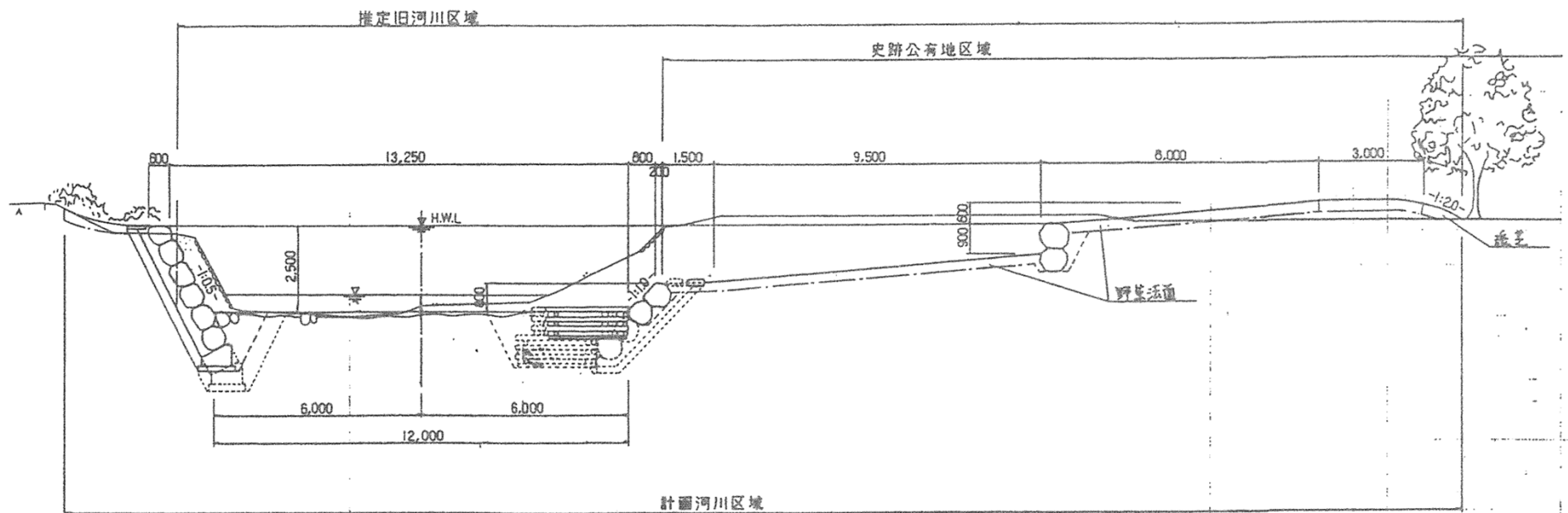
- 
- ・一乗谷川の整備前、右岸の領主館前で発掘作業中
 - ・戦国時代の石垣が出土

- 
- ・出土した戦国時代の石垣を活用した護岸（上段）
 - ・護岸の裏に必要なに応じ裏込めコンクリートにて補強
 - ・石積天端を揃えない

- 
- ・準備工事の段階で、現地の表土を保存（シードバンク）
 - ・法面の仕上げ段階でそれをまき出す（野草法面）
 - ・現存植生が早期回復

- ・領主館濠から流れ出る支川との合流部は巻き止め
- ・下段は木工沈床基礎の空石張

河道計画 断面図



図一 2 一乗谷川 計画断面図

- 
- A photograph of a concrete bridge over a small stream in a rural landscape. The bridge is made of concrete and has a simple, functional design. It is surrounded by lush green vegetation and rocks. In the background, there are several small houses and a dense forest of tall trees. The overall scene is peaceful and scenic.
- ・支川に架かる管理道路橋(RC造)
 - ・地場産石材「笏谷石」の風合いを持たせた
 - ・ダミーの橋脚を設け、2径間に見せている

- 
- ・水辺に近づきやすくする石積の階段
 - ・帯工の位置に合わせ、護岸をセットバック



・帯工天端には、一部水面に出るよう飛石の機能を持たせ、渡河可能

A photograph of a river flowing through a lush green landscape. In the foreground, a stone weir is visible, with water cascading over it. The river is surrounded by dense green vegetation, including tall grasses and various plants. In the background, there are more trees and a small white building with a red roof. The sky is blue with some clouds.

- ・流速緩和と河床安定を図るため、急流区間に落差工を設けた
- ・福井県雪対策・建設技術研究所で開発した魚の上り易い多段式落差工(全断面魚道)を採用

- ・石張とすることで、福井豪雨にもよく耐えた

多段式落差工 断面図

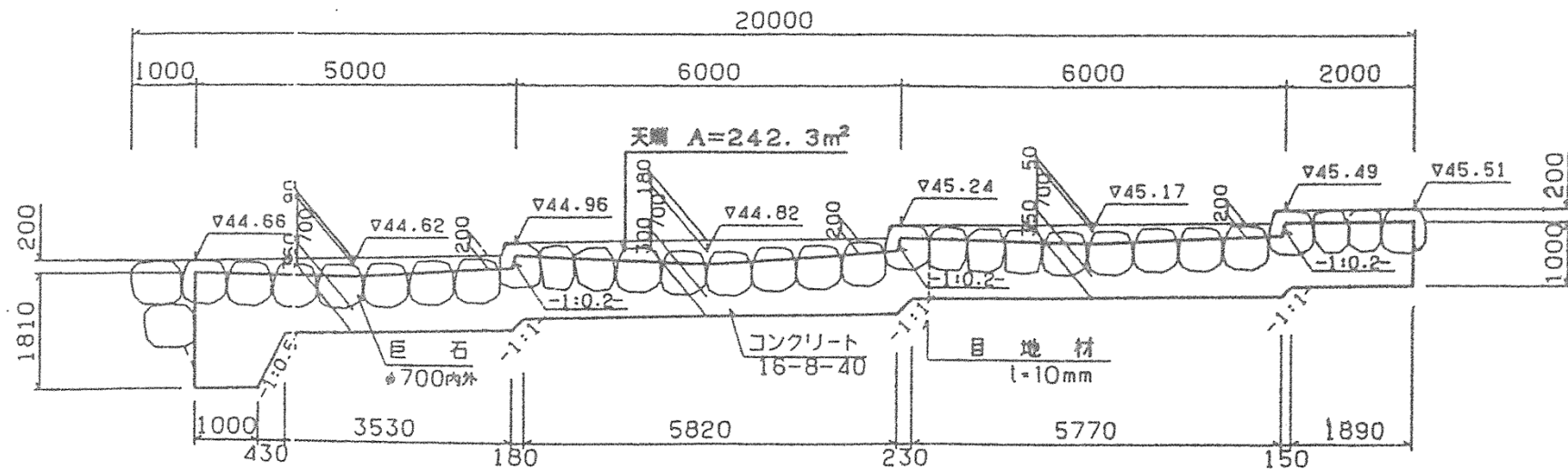


図-3 多段式落差工 断面図

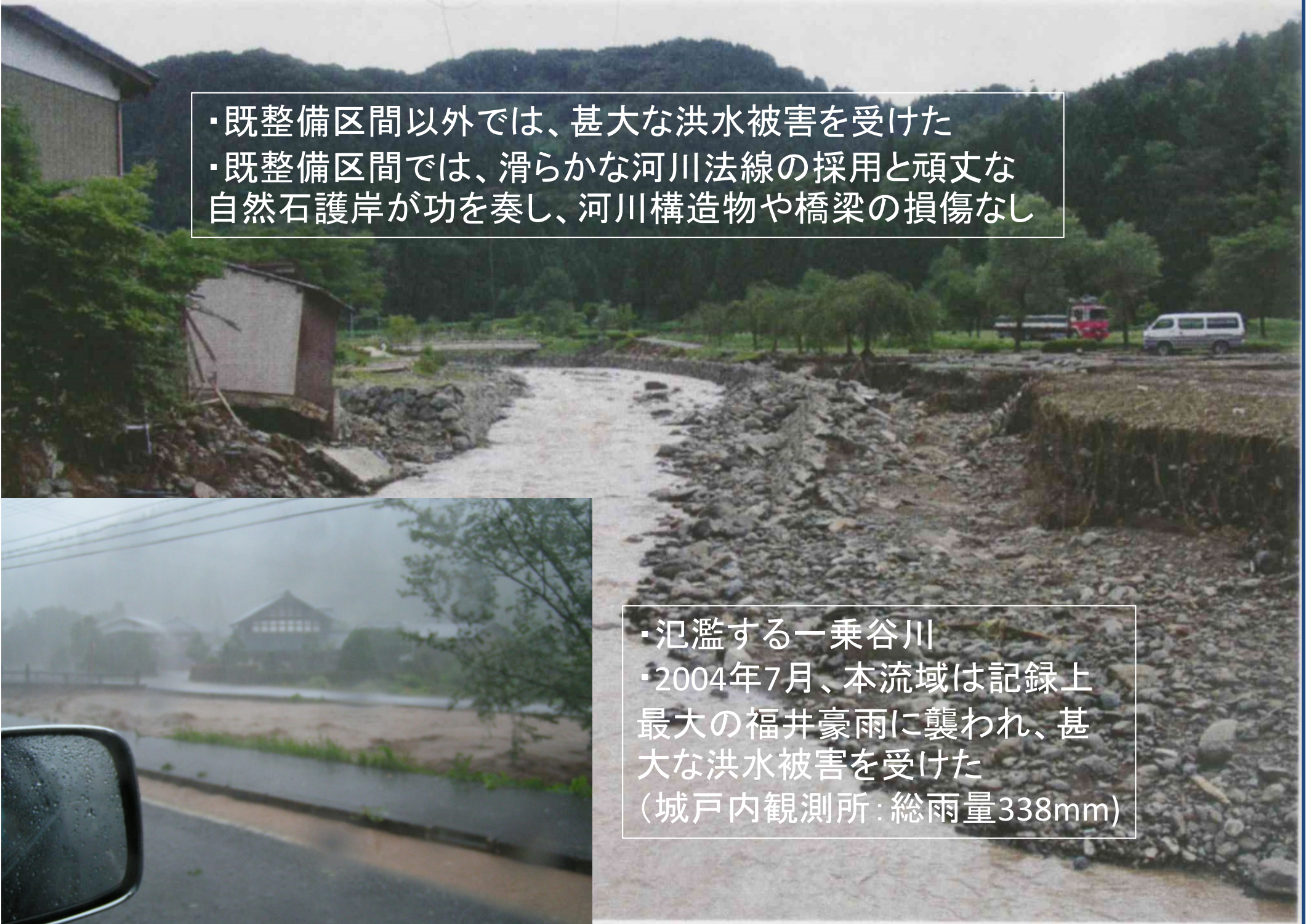
- 
- ・領主館と武家屋敷を結ぶ人道橋
・高欄や桁隠しに防腐剤注入した木材を活用し、
20年近く経った今、枯れた味わいを出しつつも
機能は維持



A paved path with a metal railing runs alongside a small stream. In the background, there is a stone bridge and a forested hill. The sky is overcast.

スロープを付け、車
椅子での回遊も可能

- 
- ・新設した堤外水路
 - ・文化財サイドから領主館
濠の水質改善を要請
 - ・急流河川の特徴を活かし、
勾配差により堰を設けず、
堤内に清冽な水を取水

- 
- ・既整備区間以外では、甚大な洪水被害を受けた
・既整備区間では、滑らかな河川法線の採用と頑丈な自然石護岸が功を奏し、河川構造物や橋梁の損傷なし

- 
- ・氾濫する一乗谷川
・2004年7月、本流域は記録上最大の福井豪雨に襲われ、甚大な洪水被害を受けた
(城戸内観測所:総雨量338mm)

土木学会デザイン賞HP



最優秀賞の
詳細情報

2011
2010
2009
2008
2007
2006
2005
2004
2003
2002
2001

選考結果

2015

最優秀賞 優秀賞 奨励賞

最優秀賞

一乗谷川ふるさとの川整備事業
The improvement of home river in Ichijodani heritage



画面をクリック

ご清聴ありがとうございました

